

アイーナにおける学習席に関する関係者打ち合わせについて（報告）

1 日時

平成30年1月18日（木）9:00～10:00

2 出席者所属

生涯学習文化財課、県立図書館、県立図書館指定管理者、県立大学アイーナキャンパス、若者女性協働推進室、アイーナ指定管理者

3 打ち合わせの目的

アイーナの利用者から学習席確保に関する要望が多く寄せられている現状を踏まえ、学習席を設置している県立図書館及び県立大学アイーナキャンパスとの情報共有と今後の対応について協議すること。

4 学習（専用）席の設置状況

区分	学習（専用）席の状況	
アイーナ	無	県民プラザ（4階）の一般利用テーブル（7台）の学習目的利用が可能
県立図書館	有	閲覧席189席のうち66席を学習席として提供
県立大学アイーナキャンパス	有	学習室（予約が入っていない場合のみ）を自習用として開放
県民活動交流センター	無	ラウンジ（6階）の一般利用テーブルの学習目的利用が可能

5 主な意見等

【図書館】

図書館、アイーナキャンパスとも開館(H18.4)当初は学習席を設けていなかったが、高校生の入館者が居場所を求めてアイーナ内の共有スペースや貸し出している会議室において共有備品を勝手に移動し机や椅子として利用するなど、目に余る行動が続いたため、高校側に指導を求めるとともに、施設としても一定の学習席を設けることとしたもの。

【アイーナ指定管理者】

4階県民プラザにおいても、学習利用を認める現在の運用をアイーナキャンパス、図書館が学習席を設けた時期から開始しており、各施設が連携をとりながら対応した。

【図書館】

図書館では、夏休みや冬休みの期間中は、開館と同時に学習席が埋まり、一般席は午前中空席が多いことから、一般席を減らし、学習席を増やしてほしいとの要望が寄せられるが、午後からは一般席の利用者も増えることから、今のところ学習席と一般席の割合を変える予定はない。

【アイーナキャンパス】

アイーナキャンパスでは利用予定がない日は、教室を高校生等に学習用に開放しているが、利用中は職員が巡回し、私語が多いなど学習目的ではないと認められる場合は、退室を求めている。このため、開放を始めた当初は4、5部屋を開放する日も多かったが、現在は利用者も減少し1、2部屋の利用となっている。

【生涯学習文化財課】

学習席を求める高校生にも、学習意欲に開きがあり、本当に勉強したい生徒はアイーナキャンパスや図書館を利用し、友達とのコミュニケーションを重視するような生徒は、4階の県民プラザやNPO活動交流センターを利用するなど、すみ分けができている。

<出席者において確認した事項>

- ・当面は各施設とも現状の取り扱いを継続する。
- ・学習席に関する要望の対応については、連携を図っていく。
- ・今後も随時打ち合わせを行う。